

経緯

新型コロナウイルス感染症により、社会構造や産業構造、ニーズなど様々な分野で変革が起きている。この変革に対し、県と市町村が連携し実施していくことが岩手県全体にとって有益である。

課題

①地方への関心の高まりを岩手に

- デジタル化の推進や、首都圏一極集中型から分散型への転換により、今後リモートワークやワーケーション、サテライトオフィスなどの需要が増加する。
- 移住定住、企業誘致や人材誘致がさらに進む。
- 県と市町村の連携はどうあるべきか。

- 岩手県の魅力の発信のため、県はどのような施策を展開し、市町村と連携していくか。
- 他県では周遊ワーケーションなどの広域的な事業を実施している。岩手県の今後の広域的な事業展開はどうか。
- 市町村でのリモートワーク等の実績・状況などはどうか。





課題

②観光需要の喚起



- コロナの影響による観光需要の低迷により、関連産業は大きな打撃。
- 令和3年は東京オリ・パラの開催、東北DCなどが予定されており、回復の好機。
- 移動時間の短縮による、観光の広範化に期待。
- 岩手への関心をより高めるため、移住定住関係施策と観光施策を合わせ、相乗効果を。

- 令和3年度に東京オリ・パラ、東北DC、ぼうさいこくたい2021が予定されているが、連動したイベントについて県及び市町村に伺いたい。
- クルーズ船・インバウンド等の外需、マイクロツーリズム等の内需の振興について伺いたい。



岩手に行こう

TOKYO OLYMPICS

2021

